

元気いっぱい 友だちいっぱい  
すずかみで学ぼう 夢をみよう

## 美小通信 4

横浜市情報教育ネットワーク(YY ネット)上に本校のホームページがあります。

URL : <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/utsukushigaoka/>学校長 松瀬 歩  
青葉区美しが丘2丁目29  
電話(901)3408

## 発見、美しが丘の新しい一面

校長 松瀬 歩

季節が夏へと移り変わり、動植物の活動が活発になり、子どもたちの行動範囲も広がります。最近、休み時間に子どもたちに誘われ、一緒に虫とりに行くのですが、カマキリやバッタを捕まえたときや新しい発見をしたときのうれしそうなお子さんの笑顔はとても印象的です。中には、友達に誘われ勢いでついてきてしまった虫の苦手なお子さんもいますが、友達に励まされチャレンジして虫をもつことができたときの緊張感と達成感等が入り混じった表情もまた印象的です。

最近、地域の方の主催で行っている「トコロジスト養成講座」というものに定期的に参加しています。トコロジストとは、「その地域の地理や地質、歴史や文化などの幅広い分野に興味をもつその場所の専門家」のことを言い、その講座の目的は、美しが丘のまちのよさを発見し、美しが丘のまちの専門家になろうというものです。街を歩くときの視点について講義を受け、実際にまちを歩きます。すると、今まで気付かなかった新たな発見がたくさんあることに気がきます。また、気付いてはいても問題意識をもつこともなく日常生活を送る中で意識しなくなってしまうことがたくさんあることにも気がきます。具体的には

○美しが丘公園のビワの実を狙っているヒヨドリやメジロなどの鳥たちが多数電線にとまっている。人も狙っていて、食べるとおいしいが、種が大きく食べられる部分が少ない。

○駅から団地に入る歩道橋近くはオナガが集まっていることが多いので、その近くに営巣地があるかもしれない。

○ユリノキが立派に育っているが、台風が来るたびに倒れている。対策が必要。等々  
私も学校の周りを観察すると、いろいろなことに気がきます。

○他校にはない山椒の木が美小にはある。植えた記録がないことから、鳥が山椒の実を運んできて、それが育ったのでは。

○校門前のハナミズキ並木の植込みから、クワヤクス、クヌギの木が育ってきている。クワヤクスは鳥が運んだ可能性が高いが、クヌギは校地内にあるクヌギのドングリを子どもたちが植込みに投げ込んだものが生長したのでは。等々

大の大人が自分の発見を嬉しそうに発表し、みんなで共感し合う。その姿は冒頭に書いた子どものもので、その場の雰囲気は小学校の授業のようでした。大人も子どもも新しい出来事に出会うと心が躍ることは変わりありません。

今年も遠くまで出かけられない夏休みになりそうです。そんなときは、是非、ご家族でぶらっと散歩してみたいかがでしょうか。美しが丘の新しい一面を発見し、家族で喜びを共有できるかもしれません。



校門前の植込み